

各企業等の社会貢献活動

公園内の景観向上に汗

盛興建設 公園築山に花壇



【室蘭発】盛興建設(苫小牧、原吉社長)は26日、小牧、原吉社長は26日、苫小牧市の日の出公園にある2つの築山において、花壇整備のボランティア活動を行った。2つの築山のうち、一方はマリゴールドなど約1000株を植栽、もう一方は来年度の植栽に向けて傾斜などを整えた。同社は、2009年度から毎年、同園内で植樹活動を実施している。前年度からさらなる景観向上のため、園内2つの築山にマリゴールドなどを植えた。

築山で花壇を整備。前年度は階段を設置した。本年度は、一方の築山にマリゴールドなど約1000株を植栽し、もう一方は来年度の植栽に備えて傾斜などを整えた。26日は同社の社員ら約40人が参加。植栽が行われた築山には、花を等間隔に植

え、園内を綺麗に彩った。滝沢秀信専務は「これからも公園美化の活動を積極的に行っていきたい」と話していた。

奉仕活動は、旭山動物園へのアクセスルートとなっている同路線の美化や、川の街にふさわしい河川環境の保全に努めようと2016年度から実施しているもの。今回は28人が参加した。国道39号の合流地点から動物園へ1きざ、牛朱別川に架かる境橋から上流に向かって1きざの左岸側築堤で清掃活動を展開。社名が入った揃いの作業着に身を包み、たばこの吸い殻などの小さなごみも丁寧に拾い集めた。

道路、河川敷きれいに 旭川設計測量 清掃活動



小さなごみも見逃さずに拾った

【旭川発】旭川設計測量(株)(旭川、田上和広社長)は26日、旭川市内の道道愛別当麻線歩道および牛朱別川河川敷でごみ拾いを行った。社員28人が参加。火ほさみを使って丁寧にごみを回収し、地域環境の美化に取り組んだ。

川河川敷でごみ拾いを行った。社員28人が参加。火ほさみを使って丁寧にごみを回収し、地域環境の美化に取り組んだ。

国道39号の合流地点から動物園へ1きざ、牛朱別川に架かる境橋から上流に向かって1きざの左岸側築堤で清掃活動を展開。社名が入った揃いの作業着に身を包み、たばこの吸い殻などの小さなごみも丁寧に拾い集めた。

子どもの学びの一助に 平田建設 図書購入費寄付



長谷川社長(左)が寄付金を贈呈した

【帯広発】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)は25日、図書購入費に役立ててもらおうと、土幌町に10万円を寄付した。地域とともにある建設企業として、2005年から続けている地域貢献活動。長谷川社長が

小林康雄町長に寄付金を手渡し、子どもたちの学びの一助となることを願った。同社は毎年、町に対し図書購入費を寄付。ことしで17年目を迎えた。町は、中央中学校の図書購入費として寄付金を活用。購入した図書は「平田文庫」として同校図書館に配架している。寄付金で購入した本は、前年度までに計879冊にのぼる。

25日は、長谷川社長が役場を訪問し、小林町長に寄付金を手渡した。小林町長は「学校現場からも感謝の声が寄せられている。大変ありがたい」と取組に対して謝辞を述べた。長谷川社長は「子どもたちが活字離れすることなく、本に興味をもってほしい。これからも活動を続けていく」と話していた。



700mの区間で草刈りやごみ拾いを行った

地域の環境美化に寄与 北建コンサル 道路清掃

【留萌発】(株)北建コンサル(留萌、大館哲也社長)は26日、留萌市内のルタント(留萌、大館哲也)南10丁目通や寿9号通などで清掃活動を実施した。大館社長をはじめ、役員11人が参加。草刈りやごみ拾いなどを行い、地域の環境美化に寄与した。同社は、地域の観

700mの区間で草刈りやごみ拾いを行った。同社は、地域の観

初のICT農業土木技術報告会

上田組



【釧路発】(株)上田組(標津、上田修平社長)は25日、中標津町内の同社施工工事現場でICT農業土木技術報告会を開催した。根室振興局職員や管内農協職員ら約20人が参加。同社が取り組んでいる遠隔現場やロボテック・プロセス・オートメーション(RPA)、MCブルドーザ施工などを紹介。最新技術を駆使した未来型農業土木を披露した。同社は、働き方改革推進と生産性向上に向けて積極的に最新技術を導入。報告会は、こうした技術を広く知ってもらうことで担い手不足の解消、次世代への技術継承につながることを考えて行なった。開催に当たっては(株)岩崎、(株)共成レ

【釧路発】(株)上田組(標津、上田修平社長)は25日、中標津町内の同社施工工事現場でICT農業土木技術報告会を開催した。根室振興局職員や管内農協職員ら約20人が参加。同社が取り組んでいる遠隔現場やロボテック・プロセス・オートメーション(RPA)、MCブルドーザ施工などを紹介。最新技術を駆使した未来型農業土木を披露した。同社は、働き方改革推進と生産性向上に向けて積極的に最新技術を導入。報告会は、こうした技術を広く知ってもらうことで担い手不足の解消、次世代への技術継承につながることを考えて行なった。開催に当たっては(株)岩崎、(株)共成レ

業界担う次世代見据える

引続き、施工現場に移り、「MCブルドーザによる層厚整地」を公開。3次元データに基づいてブレーダーが自動制御される様子も披露した。総評で根室振興局の藤原弘昭地域産業担当部長は「新技術を先導して導入することは地域、業界の意識改革、スキルアップにつながる」と取組を高く評価。「新技術を使うことで、若い世代が建設業や1次産業に抱くイメージが変わってくる」とも述べ、担い手確保への波及効果にも期待を寄せた。今回の報告会について上田社長は「数年と待たずにさらに進歩した技術が現場で活躍すると思う。時代の流れに遅れを取らぬようしっかりと準備していきたい」と言葉を寄せた。

2色の花で街に彩り 函館ウェルカム・ロードの会



空の玄関口を飾り付けた

【函館発】函館ウェルカム・ロードの会(折谷久美子代表)は26日、道道函館空港線の植栽活動を実施した。函館ウェルカム・ロードの会(折谷久美子会長)のメンバーのほか、函館開建や函館建管、函館建青会などの有志ら250人余りが参加。赤と白のペゴニアを沿道に植栽し、空港から函館市街地に向かう空の玄関口を鮮やかに彩った。2006年度から継続している植栽活動は、函館ウェルカム・ロードの会が主催。前年度は新型コロナウィルスの影響で活動を見送ったため、こしが16回目の活動となった。26日は、同会を構成するHAC友の会はこれまで地域での会のほか、函館開建、函館建管、函館建青会などの協力団体が集結。道

活動を終えた参加者は「景色が見違えた」と成果を強調するとともに、今後の活動継続に向けてさらなる意欲を示していた。

Advertisement for Niseko Environment Co., Ltd. with website URL http://www.niseko-tr.co.jp and contact information.